

令和4年7月8日（金）

19:00～21:00

六合公民館第1集会室

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、青山朝美委員、八木博委員、熊谷紀男委員、
松本敬人委員、萩原淑恵委員、西田正鋭委員

教育委員会社会教育課：清水社会教育課長、根岸六合公民館係長、
伊藤課長補佐兼社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：伊藤）

- ・配布資料の確認を行った。

2 田代議長あいさつ

- ・本日は六合公民館で開催し、館の説明をしていただき、見学も予定している。各公民館で開催し、公民館の在り方について検討していくが、今はインプットの時期と認識している。後で今後のスケジュールの説明もあるが、先進事例の視察もしていきたい。インプットの後、論点整理をしてアウトプットをしながら答申に移っていききたい。現在のところは結論的なところにはもっていきたくない、いろいろなご意見を出してもらい、先進事例を学んでいこうという考えでいる。
- ・6月23日には県社会教育委員連絡協議会の総会と全体研修会があり、研修会では福祉の専門家を講師に迎えた。その中で、私が一番感じたのは福祉をどう捉えるか。福祉というと特別な支えられる人、それに支える人、専門的な支援者というように捉える。講師はそういうものではないと。「特定な人が特定な人へ」ではなく、みんなが今の生活よりもより良い生活を求めて、考えて実践することだと。なるほどと私自身は目が覚めた。
- ・初倉中で職業体験、職場体験を10月にするので、キャリアコンサルタントとして講話をしてほしいと地域学校協働活動推進員である初倉館長から依頼を受けた。キャリア＝職業体験ではなく、キャリアはもっと奥深いものだとして私の立場としては思っているが、良い機会なので、現在資料を集めて考え方を整理している最中である。
- ・4月から子ども食堂での絵本の読み聞かせを3回を行い、私的には何となく板についてきて自信もついてきたと思う。子ども達の目を見ながら話をするところは紙芝居と違う部分がある。子ども達の目の耀きを感じながら話をする。すごいなと改めて感じた。未就学児なのでお母さん達も聞いてくれる。“家庭教育の在り方”を伝える機会もあるかなと。青山委員と相談していきたい。
- ・最近の出来事を申し上げた。よろしくをお願いします。

3 清水課長あいさつ

- ・こちらに向かう間に名札がないことに気づいた。川口公会堂に忘れてきたのだが、日曜日に投票所となる会場で、その準備に本日午後行ってきた。以前従事していた川根支所、金谷南支所のときは期日前投票の担当をしており、金谷支所を取壊した後の投票所をどうするといったときに、金谷公民館にということになり調整にあたった。公民館にはいろいろな役割があるなどと思う。一方、こちらの六合公民館も当日の投票所として本日も準備をしている。
- ・本日、館内をご覧いただいたあとの協議となるが、よろしくをお願いします。

4 視察

(1) 六合公民館の概要説明

根岸センター長（係長）から説明を行った。

(2) 館内案内

根岸センター長（係長）に館内の案内してもらった。

(質疑)

- ・地域包括支援センターが2階だと利用者が来にくいのでは。
→場所が判りにくいので、施設事務室に声をかけていただくことが多い。その場合にはエレベーターを利用し2階に上がってもらえるようご案内している。
- ・地域包括支援センターで個人的な相談を受ける場所はあるか。
→基本的にはない。必要な時は公民館利用申請を出してもらい空いている部屋を使ってもらっている。

5 議題

(1) 「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討

- ・まだ論点整理の段階ではないので、これを取り上げるとか取り下げるとかの話ではない。説明を聞いてもらい発言した内容と異なることがあればいいほしい。（議長）
- ・伊藤より前回の振り返りとして用意した資料を説明した。
- ・金谷、六合、初倉各公民館の運営審議会にオブザーバーとして出席してくれた委員から感想等を言ってもらった。
- ・金谷公民館では民間委託のことが話題になっていた。民間委託されると社会教育課の関わりがどんどんこれから薄くなってしまわないか。金谷公民館も表彰されているし、昔からの手作りの事業が盛んで、いろいろなことを工夫してやっているなど。少ない人数でよく頑張っている。金谷公民館が作り出した知的財産であると思うが、民間に丸投げして、民間は職員には全員移ってほしいと言っている。もったいないなど、市も知的財産的な発想で丸投げするのではなく、そこを売りにして何とかならないのかと感じた。金谷町時代から公民館にはサポーターがたくさんいて、手作り事業ができています。支援者もいっぱいいる。今後どうなっていくの

- か。庁舎の後は体育施設か何かに生まれ変わるのか。
- 総合施設になる。支所機能や子育て機能など全体を指定管理で管理運営していく。
- ・全体像が見えない中で、傍聴した審議会だったので位置付けが判らなかった。うまくまとめていくにはどうしたらいいのかなと思った。島田市として六合や初倉も将来的には民間委託、指定管理の方向で考えていくのか。それによって、この話し合いの方針、考えるべき方向性も随分違ってくるのではないかと感じた。
 - ・指定管理制度が話題になった。デメリットとして常に言われている運営委員長と主事と館長の三者の連携に非常に問題が多いと実感した。指定管理を導入することで事務担当者と利用者がますます疎遠になるのではないか。お粗末だった。これから指定管理を担当する方が説明できない、構想も持っていない、それがはっきり伺えた。今までのことをやっていくだけ。それなら従来のもままでいいのではないかという印象を持った。
 - ・金谷は指定管理者が説明したのか。
 - ・来年度から指定管理者を導入することが決まっているようである。
 - ・すぐ決めないと間に合わない。ただ、説明ができなかった。
- 全体を指定管理で進めるが、その中に公民館があり、今後の手続きの中で公民館の主催事業が課題となっており、契約のことも含め業者に対して働きかけを資産活用課を通して行っている。
- ・社会教育課が関わりを続けられるような契約になれば生きてくることもあるだろう。
- 指定管理の公民館の部分は社会教育課が引き続き担っていく。公民館以外の施設と連携することによっていろいろな効果を上げていくとしている。
- ・金谷公民館は指定管理を進めることが決定しているのか。
- 金谷はそのような形で進んでいる。どの公民館であっても、その機能が指定管理に合うかということは議論の余地があるかもしれない。
- ・3館一緒に入札をしてということではない？
- 地域的なところで金谷が対象になって、旧庁舎を建替えて、体育館や公園があり、公民館があるということで一体となって管理運営していく。
- ・そうすると、ここで公民館活動をこのようにしたいと話し合ったとして、金谷の場合は指定管理者になったときに、これはできませんとかこれはどうですとかならないか。今やっていること以外のことも考える場なので、社会教育委員と社会教育課の関係だけでなく、指定管理者が入ってくると、利益を出さなければならないとなると、そういうことはできないということにはならないか。
- あくまで公民館の指定管理をお願いするが、公民館だけでなくPFI事業として建設する建物も含めて一体的に、建設費も入った事業である。おおりの指定管理などとは少し違う方法である。指定管理者が自主事業で利益を出して運営に充てるとかがあるかと思うが、金谷公民館の事業で利益を出すことは難しいので、今回の事業で指定管理者が市からお金を貰うかという、SCとして地域の活性化をいかにしたかという評価、アンケート

- トや評価委員会による評価によって金額が決まる仕組みと聞いている。
- ・非常に曖昧な部分というか、客観的に測れない評価で市から事業者にお金が渡るということ。
- 指定管理で行う公民館の業務は今行っていることと基本変わらない。
- ・変えてはいけないということか。
- 公民館だけでなく体育センターや公園など一体的な運営による相乗効果で、今まで以上の効果を得るようにやってくださいと市からお願いしている。
- ・児童の情報がファイルしてあったものを無くしたことがあった。後に出てきて実害はなかった。当事者である委託契約を結んでいる運営事業者が会議の席でその謝罪したが、このようなことが意識の低さ、責任の重大さと関連してくるのではないかと思った。
 - ・公民館の在り方を書いていく中で、指定管理者が判りました、その通りにやりますとはならないだろう。そのようなことは契約に書いていませんと。六合も初倉も、センター長と館長がいて、センター長は行政と繋がりがあ、館長は学校の繋がりがあ。指定管理ではそのような機能が発揮できるのか今聞いていて心配になる。
- 今従事している職員がいなくなると難しいし、資質のある職員が必要であるが、簡単に引き継げるものではなく時間をかけてやらなければならないとして事業者とも話をしてきた。そのような中、公運審では先走った話も出てきた。今の良いところを残して発展させることは事業の中での課題と認識している。それができなければ評価に値しないということが出てくると思う。そのようなことは必ず詰めて4月に始めていく。
- ・指定管理者といっても公民館は社会教育課の範疇であるという考え方でいいか。
- そうです。引継ぎについてはしっかりやっていく。
- ・六合と初倉両公民館の審議会に出席した。感想として限られた資源（場所、資料、資材、人員）で、よくあれだけの業務をこなしているなど。寺中構想のときのサービス対象として考えていた年代は青少年だと思う。今はメインが高齢者になっている。サービスの転換を求められて四苦八苦されて今の状態になっていると感じている。公民館活動について、いろいろ言われているが、日本の教育制度が破綻してしまっているのが大きいのでは。今、日本人が教育というと“学校教育”。それでは足りないことは明らかであって、新聞記事から、大学卒業時の大学院進学率は、フランスは38%で、日本は年々下がっている。今、円安になっても貿易が伸びるかという伸びない。買ってくれるものが無くなったと。日本の国力はどん詰まりではないけれども、何とかしなければいけない、政府がしなければならぬが、そのしわ寄せが義務教育とか中等教育、高等教育にしわ寄せが来てしまっている。社会教育にもしわ寄せが来ていていると思っている。過度の期待が公民館活動に来ているのではないか。現場の人達が大変だと参加して感じた。様々なサービスの提供、事務的な処理。今日、初倉で確認したけれども、ネットワークができてい。すべての仕事を1館で完結しな

くてもいいのではと思った。分け合おう。お互いの機能を調整し合う。図書館も島田図書館の蔵書を利用するとか、島田図書館を通じて県内、国内のいろいろな資料が使えるし、博物館もネットワークが結構あるので、学習面で寄与できるのでは。もう一つ居場所の話だが、無目的で来て、公的施設だから誰でもいいというわけにはいかないかもしれないが、日にちと時間を決めて、何もしないけど集まって雑談できるものが作れないか。我々が小さい頃は、碁会所に大人が集まってワイワイガヤガヤやっていたし、そういった場所があったと思う。今そういったところがなくなってきた。今困っているのは、“居場所”でマージャンをやろうと。私は1回もやったことはないが、役員だからやれと誘われている。公民館同士の話し合いで機能の分担ができないか、明日からということではなくて、何が求められているかで、ここはこれが強いよねという形で、距離が遠すぎるが、情報の分散、シェア、そういったことを考えたほうが。これではつぶれるよという感じがした。

- ・運営審議会には出席できなかったが、使わせてもらっている立場でいうと、先ほど見学時に勉強している子がいた。勉強だったり、ちょっとしたことをしに来る。集まる場所があるということはいいなと。そういったことが今後できていくのかな。そこで年代を超えた人達の繋がりができればいいなと思う。
 - ・高齢者学級など、これだけの年間スケジュールをこなしているなと思う。自主運営ということだが自主運営ではできない、公民館職員が義務的にお手伝いしている。公民館が支援していること自体は悪いことではない。支援しなければ学びの場はできない。機能分担については、公民館は地域にあるので集まりやすい。例えば「男の料理教室」が地域の公民館から無くなって、他地区の公民館でということになったら行かないだろう。地域にあるのがふさわしいと思う。事務量があるかと思うが、公民館に通っている中で、そんなに忙しいようにはみえない。
 - ・いろいろな考えがあるかと思うので深めていけばいい。早急に結論を出すことはないが、金谷だけが少し心配である。
 - ・公民館は学びの場の提供、地域づくり支援と、交流の場、居場所の部分がどうかと思う。初倉は小中学生が公民館に集まってくる。用は無くて。六合はどうか。
- 今日のように6年生ぐらいの子が4人くらい集まって勉強やって帰っていくことはある。そういった意味では、集合場所になったりする。
- ・六合とって思い出すのは“五郎祭”。中学生まで続いている。増田五郎右衛門。その資料もこの六合公民館にある。地域の偉人を大事にし、それを今も活かしている。“五郎祭”を開催し劇をやって繋いでいることはすごいなと思う。
 - ・お宮の総代を3年間務めたが、お祭りをやるときに、大人だけ集まると車で来る。子ども会に協力してもらおうといろいろな催し物が行われるので、大人から子ども達でいっぱいになり交流の場となる。
 - ・施設毎、関連法があり、それに基づいて縛られて実施していると思うし、

破れないこともあると思う。3公民館ともコミュニティとの繋がりがあ
ると思うので、居場所づくりとか、何か困ったことがあればあそこに行っ
てみようとか、あそこに行けば誰かに会えるでもいいと思う。そうすれば地
域づくりの拠点になるのでは。国で言っている地域共生社会づくりでは、
防災と同様、自助・公助・共助でいこうと。共助の中心になっていくのが
公民館ではないかと思う。職員が講座を考えるのに加え、地域の役員さん
と話をしていくなかで、地域ごとの課題がみえてくると思うので、そうい
った課題を少しでも解決する。民間委託だと業績とか費用対効果とかをみ
られるが、初めのうちは利用が少ないかもしれないが助かったとか良かった
と口コミで広がっていけば利用者が増えると思う。社会教育の観点だけ
でなく、地域づくりの拠点となれば、自然と人が集まるし、交流拠点とな
るし、そこで人づくりができれば。あるいはそれが防災の拠点に繋がって
いくし、いろいろな問題が解決できると思う。がんじがらめに公民館の在
り方と構えないで、地域づくりの拠点として地域の人材を活用する方法が
いいのでは。地域の人の考えを聞くことで、自分達では思いつかなかった
発想が出てくる。

- ・面白いなど聞かせてもらっていた。指定管理のところが大きテーマにな
っている。金谷で成功したら、六合や初倉も移行する可能性があるのか
な。なぜ、指定管理にするかという、費用が安いことが一番大きいと思
う。いろいろな施設が指定管理になっている。財源もそんなにない。名目
上は住民のために。金谷についてもいろいろな施設を総合的に管理したほ
うがより合理的である、地域住民のためになるだろうと。長い目でみたら
社会教育課から離れていく。1年でどうこうはないと思うが、そういった
構想ではないか。学校の統合も同じである。
 - ・そうさせないために公民館が地域と強く結びついていけば、それでは困る
とバックアップができると思う。
- 公民館には六合や初倉には行政サービスセンターなどいろいろな役割があ
って、人が集まってくる。金谷は新しい支所機能などがその役割となる
が、他の指定管理施設とは状況が違う部分があるので、金谷が上手くいっ
たからといって、他の公民館がどうなるかは判らないが、必ずしもそこに
いくとは限らないと思う。
- ・初倉、六合は、今のところは指定管理でいくということではないが、大き
な流れは変わらないのでは。SDGs、持続的な経営、財源を考えれば進
まざるを得ないのでは。一方で指定管理になってもあまり変わらないので
はという考えもある。それは、地域の組織、自治会やコミュニティがしっ
かりしているから。経営者が誰になろうと変わらないかもしれないという
思いもある。規制緩和をもっとすれば地域住民のために、いろいろな発想
が自由に出てきて夢のある公民館になっていく可能性がある。また、初倉
も六合も多機能である。公民館機能以外の機能が大事である。
 - ・金谷の公運審で驚いたのは、傍聴している人が多かった。しかも傍聴して
いる人達が指定管理者制度に対するすごい危機感を持っていた。今までの
ようなサービスが受けられないのではと。自分達でやってきた、築いてき

た運営が崩されてしまうのではという危機感を表明していた。発言する機会は無かったが、その説明はなんなんだろうという納得いかないところが多かったようだ。

- ・一般の指定管理とどこが違うかだけでも説明すれば不安が解消されるのでは。職員が代わらないのならそのままやればいい、図書館は市でやるなら公民館も同じでいいと傍聴者からは意見が聞こえた。
 - ・南支所や北支所は無くなるのか。
- 金谷支所として施設ができるので、現支所の後利用は検討している。
- ・お金の面、財政の部分があるのと、市長がよく言う「市がやること、住民がやること」と分けている。そのような中で、市としては指定管理にするということは切り離したい部分でないかと捉えた。2、3年は市との関わりはあると思うが、5年、10年先になってみると、公民館の活動は地域に任せたいと、そういう意図があるのではないかと感じてしまう。私の関わっている団体も市との関わりは離れてきている。島田市として公民館活動をどう考えるかが、大きい部分かなと思う。3つの公民館は地元の人達の運営で成り立っていきけるだろう、一人歩きできるだろうと市ではみているのかなと思う。そうしたときに、私達がここでどんなことを話し合っていくのか、複雑な気持ちになった。
 - ・諮問を受けて話し合ったときに、市の方針と違ってくると話し合ったことが無駄にならないか。
 - ・私は指定管理は基本的には反対。市が軸をどこに置くか。公民館の在り方をここで検討するということは、この方針がある程度生きていくということなら有難い。公民館を大事にしたいし、地域づくりの拠点にしたい。公民館はあらゆる可能性をもっている。ということなら、この意見も固まっていくのでは。
- 公民館の学習拠点、地域づくりの拠点は揺るぎないものである。その部分を伸ばしていくか、金谷の場合は違ってしまいうようなところがあるが、地域の拠点であることに違いはない。
- ・1回目、2回目で言いたいことを言ったことが、今日でまとまってきたのではないか。市のほうの意向も固まってくるのではないか。
 - ・指定管理に手を挙げるところがいなくなったら、市が直営に戻すことはあるのか。
- 実際に手が挙がらなかったこともあるようだが、新たな仕様を検討したり、直営に戻したりすることも選択肢の一つとしてあるかもしれない。指定管理に出す以上、PRに努め、いかに結び付けていくかだと思う。
- 民間委託と指定管理は違う。指定管理は市が仕様書を定め、このようにやってほしいことを示し、応募してもらい、やってもらう。丸投げではないので誤解のないようお願いしたい。市がやりたいことを代わりにやってもらう。民間に好きにやってくださいではない。
- ・社会教育課の意思が入っているということ？そこのところが、金谷公民館運営審議会では全然みえてこなかった。そこのところが傍聴の人達も不安になっていたと思う。

- ・管理仕様書に基づいた管理料を支払うでいいか。
- かかる費用に対して利用料などの収入を差し引いて残った費用の分をお支払いする。ただ、金谷PFI事業に関しては、少し事情が違うので、また説明をさせていただく。
- ・本日は前回までの振り返りを行い、公運審の感想、意見も出してもらった。心配なことがあるながらも検討は進めていかなければならない。金谷の情報も入れながらやっていきたい。

10 その他

- ・今後のスケジュール（案）でいうと、次回は9月に初倉公民館で、と事務局では考えている。志太地区の研修会を挟み、第5回として近隣市町の視察を10月頃に予定している。10月21日には当番市として合同研修会を開催する。
- ・家庭教育の在り方の広報活動、FM島田での取り組みは、担当者と話をする中では、パーソナリティとの掛け合いでのPRというよりも、講義の形がいいのではとの提案があった。その方法でよければ、今後詰めていく。
（了承）
- ・田代議長が主任児童委員に対して家庭教育の在り方の広報活動を行ったことを報告した。
- ・萩原副議長が、島田第四小の話し合い（グループトーク）の中で、機会があれば家庭教育の在り方について話してみる。
- ・県社会教育委員連絡協議会個人負担金について説明した。

11 閉会

萩原副議長から閉会あいさつ

- ・今までぼやっとしていた公民館活動の具体的な部分が情報としていっぱい出てきて、皆さんで本音がいろいろ言えたのではないかと思う。ここからどうまとめていくかは大変難しいとは思いますが、先進的な活動をしているところ、今までのように地道に活動しながら地域を活性化させているようなところとか、実際に見てみたいと強く思っている。ぜひ、勉強させてもらいたい。本日はありがとうございました。